

NO	意見の趣旨	浜田市の考え方
1	<p>物々交換の再生について</p> <p>人口減少が確定している地域環境の再生を「物々交換」で乗り切る発想の提言。高齢化・人口減少を見据えた「浜田版の逆転発想」</p> <p>〈内容の概要〉</p> <p>海と山の自然の幸を「商品価値感」でなく、互いの自給自足補完とするルートを創り産品を大切にす食料確保をめざす。</p> <p>定期的(週 1・2 週)に、「物々交換市」を開催し生産者なら誰でも自由に参加でき、価格を目指さない物々交換市。</p> <p>(誰でも産品持ち込みが参加出来るフリーマーケット的なイメージ)</p> <p>※互いが、生産者と消費者の二面を持ち寄る事で、売る産物から「自給重点の生産・消費方法」が再発見できる可能性がある。</p>	<p>ご提案のありました、「物々交換」による地域環境の再生につきましては、生活の豊かさと環境保全の両立を図る循環型社会構築に向けた重要な取組みのひとつであると考えております。</p> <p>ご意見の趣旨を踏まえ、計画書P79「市民の環境配慮」《エコライフスタイルへの転換》の中で、自給重点の生産・消費の方法による、地球温暖化対策や循環型社会構築に向けた「地産地消」の取組みへの協力・連携についての記述を追加いたしました。</p>
2	<p>浜田川の浄化について</p> <p>半世紀前はきれいな水で水泳ができた。</p>	<p>生活排水の浄化については、合併処理浄化槽による汚水処理も有効な手段であり、合併浄化槽設置助成事業により、合併処理浄化槽の普及を図っております。</p> <p>ご意見の内容につきましては、計画書P24「水辺」【施策の方向性】において、下水道整備事業などの整備促進を掲げております。</p> <p>また、P49「水質汚濁」【施策の方向性】において、河川の水質浄化に向けた施策を展開することとしており、すでに計画に反映しています。</p>

<p>3</p>	<p>下水道の整備について 下水道事業などによる水質浄化対策の推進を望む。</p>	<p>浜田市街地の下水道整備事業については、多大な事業費が必要となるため中期、長期的な市の財政状況を勘案し、十分な検討が必要です。</p> <p>下水道整備未着手地区については、早期に、新浜田市の下水道整備事業の全体構想と基本方針を定め検討いたします。</p> <p>ご意見の内容につきましては、計画書P24「水辺」【施策の方向性】において、下水道整備事業などの整備促進を掲げております。</p> <p>また、P49「水質汚濁」【施策の方向性】において、公共下水道事業など地域に応じた汚水処理の手法による下水道整備の推進などの施策を展開することとしており、すでに計画に反映しています。</p>
<p>4</p>	<p>この計画の目的となる、「景観形成」「温暖化対策」「人づくり 地域づくり」「循環型社会の構築」の4点に関係してくるのは、市の8割近くを占める森林の利用と保護の計画であろうと考える。</p> <p>最近、材価の低迷で林業は衰退の一途をたどっているが、「荒廃人工林や竹林の再生」と「エネルギーやマテリアル利用、医療、化学素材への利用」をともに考えていくと、新しい産業と環境保全の両立ができるのではないかと思う。</p> <p>精神論だけでは森林保全は難しいと思う。私たちが利用し、利益を生み、癒しの場を与えてくれると感じることができるようになるとさらに 観光資源（グリーンツーリズムなど）としての価値も上がるので</p>	<p>森林保全については、重要であり、本計画に掲げる、多様な自然環境と生態系を保全していくため、さまざまな環境保全活動に取り組む必要があると考えています。</p> <p>当市には、海・山両方の豊かな資源があり、この豊かな自然を観光資源として活用することは重要です。</p> <p>ご指摘のあった森林を観光資源として活用することについて、浜田市ではツーリズム（自然体験型観光）推進事業として、現在、その推進母体となる浜田市ツーリズム協議会に専任の職員を採用するなど、組織育成を図り、浜田市の豊富な自然を利用したモデルルートの検討・作成など、自然体験型観光の推進に取り組んでいるところです。</p> <p>森を守り育てることは、温暖化し</p>

	<p>はないか。</p> <p>森は生命のゆりかごといわれている。生物の多様性や水源の涵養機能など、その他あげれば私たち人間にとって必要な力がたくさんある。</p> <p>ぜひもう少し突っ込んだ計画を検討して頂きたい。</p>	<p>つつある地球環境の保全対策として、また日本に存在する最も豊富な地域資源の活用策などとして、私たちが生活する上で欠くことのできない重要なことであると考えます。</p> <p>市といたしましては、まず未整備である森林の整備促進、竹材を始めとした木質バイオマスの推進など、森林の保全と森林の活用という両面から取り組んでいきたいと思います。</p> <p>また、地元材の活用を進めておられる、財団法人島根県西部山村振興財団や協同組合ヴァーテックス、そして森林整備の中核を担われている石央森林組合など関係機関との連携を図り、地元木材の振興にも取り組んでいきます。</p> <p>ご意見の趣旨を踏まえ、計画書P34「森林・農地・漁場」【施策の方向性】に、「竹林等の森林資源を活用した木質バイオマスの推進」についての記述を追加いたしました。</p>
5	<p>下水道接続率 100%を目指した取り組みを進めていただきたい。</p>	<p>各世帯の下水道接続工事については、市も接続率の向上を目指し、供用開始後の早期接続をお願いしております。普及啓発活動も継続して行っています。</p> <p>ご意見の内容につきましては、計画書P51「水質汚濁」【施策の方向性】において、下水道処理施設への早期つなぎ込みを促す啓発活動の実施を掲げており、すでに計画に反映しています。</p>

上記のほか、2件のご意見をいただきましたが、今回募集した浜田市環境基本計画に直接関わる内容ではありませんでしたので、浜田市への貴重なご提言として受け取らせていただきました。